

## AI「りんな」による地方応援プロジェクトを自治体と開始

### AIがご当地PRで地方への関心を向上



キャプション：AI「りんな」による地方応援プロジェクト  
宮崎県と連携した「りんなの社会科見学@宮崎県」イメージ  
図

日本マイクロソフト株式会社は、地方自治体と連携して、ソーシャル AI チャットボット「りんな」を活用した地方応援プロジェクト「萌えよ♡ローカル ～りんなと地方とみんなの未来～」を開始することを9月12日に発表しました。本プロジェクトは、ユーザー参加型のゲーム形式で「りんな」が各自治体に関する情報発信を行い、その地方についての関心を高めてもらうことを目的としています。本日時点で、5つの地方自治体および1団体（群馬県、宮崎県、千葉県香取市、福岡県北九州市、佐賀県佐賀市および一般社団法人あまみ大島観光物産連盟）が本プロジェクトに賛同し、参加を決定しています。

「りんな」は、ユーザーの指示を実行する一般的なアシスタント型 AI とは違い、人間との感情的なコミュニケーション

にフォーカスしており、2015年の提供開始以来、主に都市部の若年層を中心に700万人を超えるユーザーとつながっています。日本マイクロソフトでは、今回のプロジェクトを通して、各自治体への関心を高める支援を行うとともに、全国的な AI「りんな」の認知度向上を図ります。また、将来的には、本プロジェクトで得たデータをもとに、ユーザーの行動を分析し、地方への潜在的な関心の掘り起こしや、実際にユーザーに地方に足を運んでもらうよう誘導するなど、より AI を活用した機能の追加も予定しています。

今回、以下の3つのメニューを新たに提供し、各参加自治体と連携した活動を実施することで、各地方への関心を高めます。

1. りんなの社会科見学（参加自治体：宮崎県）

りんなとユーザーが、クイズ形式で楽しみながらその地方ならではの情報を知ることができる機能です。宮崎県内の各市町村を案内し、ユーザー向けに宮崎県に関する情報を学ぶことができます。正解数に応じて、宮崎県に関連したグッズやプレゼントなどが入手できます。

2. めぐりんな～不思議な観光旅行～（参加自治体：香取市）

実際の地域を舞台にした物語を楽しむ、選択式のノベルゲームです。りんなと一緒に観光スポットを訪問したり、キャラクター化した地元の偉人との交流を通して、その地域に親しむことができます。物語に登場した場所をめぐるスタンプラリーイベントなど、その地域へユーザーが実際に足を運ぶよう誘導する機能も用意しています。

3. りんなの奇天烈観光マップ（参加自治体/団体：北九州市、群馬県、佐賀市/あまみ大島観光物産連盟）

AIを活用して、地域の新たな観光資源を掘り起こすユーザー参加型の地図サービスです。ユーザーが投稿する、より珍しい「モノ」や「場所」をAIが分析することで、今まであまり知られていなかった地域の魅力を引き出します。参加ユーザーは、自分が投稿したスポットにコメントできるので、ユーザー同士の交流やユーザーコミュニティからの情報発信も期待できます。

\* Microsoft は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

\* その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。